

別紙 3

記 載 上 の 注 意 事 項

1 期初・期末在庫

期末在庫については、9月30日の業務終了時に管理又は所有する麻薬の数量を必ず確認し、帳簿の現在数と照合し、正確に記載すること。また、粉末、散剤、液剤等は必ず秤量すること。

2 品名

管理又は所有する全ての麻薬の品名及び受払数量について記載すること。
(院内予製したものを含む。院内予製の麻薬については、備考欄に「院内予製」と記載すること。)

コデインリン酸塩、ジヒドロコデインリン酸塩、エチルモルヒネ塩酸塩（ジオニン）及びこれらの倍散についても記載し、これらの払出数量は期初在庫数量と受入数量の合計数量から9月30日現在秤量した数量を差し引いた数量を記載すること。

3 住所欄及び氏名欄

麻 薬 取 扱 者	住 所 欄	氏 名 欄
麻 薬 小 売 業 者	・届出者の住所 ・法人にあつては主たる事務所の所在地	・届出者の氏名 ・法人にあつてはその名称及び代表者の職・氏名
麻薬管理者がいる麻薬診療施設	<u>麻薬管理者</u> の住所	<u>麻薬管理者</u> の氏名
麻薬管理者のいない麻薬診療施設	<u>麻薬施用者</u> の住所	<u>麻薬施用者</u> の氏名
麻 薬 研 究 者	本人の住所	本人の氏名

別紙1麻薬小売業者等届の「麻薬業務所の所在地及び名称」欄には、免許を受けた麻薬業務所である麻薬診療施設又は麻薬研究施設の所在地及び名称を記載すること。

4 受入欄

- ・ 期間中受け入れた麻薬の数量を記載すること。受け入れた麻薬がない場合、総数量欄に「0」と記載するか、斜線を引くこと。
- ・ 免許失効等による残余麻薬を譲り受けた場合も受入欄に記載し、備考欄にその数量、譲受年月日及び譲渡人の氏名又は名称を記載すること。**(記載例 8 参照)**
- ・ 秤量誤差（秤量値が帳簿上の残量より多い場合）により受け入れた麻薬についても受入欄に記載し、備考欄に「秤量誤差」である旨、受入数量及び「受入」である旨を記載すること。**(記載例 2 の a 参照)**
- ・ 麻薬小売業者間譲渡許可により、他の薬局から譲受した麻薬についても受入欄に記載し、備考欄に「譲受」した旨、譲受数量を記載すること。**(記載例 7 の a 参照)**

5 払出欄

- ・ 期間中払い出した麻薬の数量を記載すること。払い出した麻薬がない場合、総数量欄に「0」と記載するか、斜線を引くこと。
- ・ 自然減量又は秤量誤差（秤量値が帳簿上の残量より少ない場合）により払い出した麻薬についても払出欄に記載し、備考欄に「自然減量」又は「秤量誤差」の旨、払出数量及び「払出」した旨を記載すること。**(記載例 2 の b 及び記載例 3 参照)**
- ・ 麻薬廃棄届により、麻薬取締職員の立会の下で廃棄した麻薬についても払出欄に記載し、備考欄に「廃棄」した旨、廃棄数量及び廃棄届の届出年月日を記載すること。**(記載例 4 参照)**
- ・ 事故が生じた麻薬についても払出欄に記載し、備考欄に事故の種類、事故麻薬の数量及び事故届の届出年月日を記載すること。**(記載例 1 参照)**
- ・ 麻薬小売業者間譲渡許可により、他の薬局へ譲渡した麻薬についても払出欄に記載し、備考欄に「譲渡」した旨、譲渡数量を記載すること。**(記載例 7 の b 参照)**

6 施用残又は返却を受けた麻薬の受払い

- ・ 受入欄には、期間中の施用残又は返却を受けた麻薬の数量を、改行して（ ）書きで記載すること。**(記載例 5 参照)**
- ・ 払出欄には、期間中再利用し、又は廃棄を届け出た麻薬の数量を、改行してそれぞれ「再（ ）」、「廃（ ）」で記載すること。なお、外来患者が麻薬を持参して（再）入院し、再利用した場合には、受入欄に持参した麻薬の数量を「持（ ）」で記載すること。**(記載例 6 参照)**

- ・ 麻薬小売業者は、患者から譲り受けた麻薬で、調剤済麻薬廃棄届を提出した数量については、改行して「廃（ ）」で記載すること。（記載例 5 の a 参照）
- ・ ブロンプトン液の返却を受けた場合には、含有する麻薬に換算し、その受入数量を記載すること。

(記 載 例)

例 1：事故（破損）の場合

払出欄に破損数量を加え、備考欄に破損数量及び事故届について記載する（例では、1 Aが破損）。

品 名	期 初 在 庫			受 入			払 出			期 末 在 庫			備 考
	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	
モルヒネ塩酸塩 注 1 0 m g	A	10×1 1×3	13	A	10×5	50	A	10×3 1×1	31	A	10×3 1×2	32	破損 1 A (R7.3.2 事 故届)

例 2：秤量誤差の場合

a 秤量値が帳簿上の残量より多い場合

受入欄に誤差数量を加え、備考欄に秤量誤差数量を記載する（例では、1 g が秤量誤差）。

品 名	期 初 在 庫			受 入			払 出			期 末 在 庫			備 考
	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	
モルヒネ塩酸塩 10 倍散	g		30.0	g		51.0	g		20.0	g		61.0	秤量誤差 1.0g 受入

b 秤量値が帳簿上の残高より少ない場合

払出欄に誤差数量を加え、備考欄に秤量誤差数量を記載する（例では、1 g が秤量誤差）。

品 名	期 初 在 庫			受 入			払 出			期 末 在 庫			備 考
	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	
モルヒネ塩酸塩 10 倍散	g		30.0	g		50.0	g		21.0	g		59.0	秤量誤差 1.0g 払出

例 3：自然減量の場合

払出欄に自然減量分を加え、備考欄に自然減量数量を記載する（例では、0.8mL が自然減量）。

品 名	期 初 在 庫			受 入			払 出			期 末 在 庫			備 考
	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	
アヘンチンキ	m l		20	m l		0	m l		0.8	m l		19.2	自然減量 0.8ml 払出

例 4：麻薬廃棄届による廃棄の場合

「払出」に廃棄数量を加え、備考欄に廃棄数量及び廃棄届について記載する（例では、50 錠を廃棄）。

品 名	期 初 在 庫			受 入			払 出			期 末 在 庫			備 考
	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	
MS コンチン錠 10 mg	T	100×1	100	T	100×1	100	T	100×1 1×50	150	T	1×50	50	廃棄 50 錠 (R7.2.1 廃 棄届)

例 5：返却を受けた麻薬の場合

- a 返却を受けた麻薬があり、そのすべてを廃棄した場合
返却数量を受入欄に（ ）書きで記載し、廃棄数量を払出欄に「廃（ ）」で記載する（例では、患者から 20 錠の返却があり、全量廃棄）。

品名	期 初 在 庫			受 入			払 出			期 末 在 庫			備 考
	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	
MS コンチン錠 10 mg	T	100×1	100	T	100×1	100	T	100×1 1×50	150	T	1×50	50	
〃						(20)			廃(20)				

- b 施用残又は返却を受けた麻薬があり、そのすべてを再利用した場合（※返却麻薬の再利用ができない麻薬小売業者は除く。）
再利用数量を払出欄に「再（ ）」で記載する。再利用の目的で管理しているものがある場合は、その数量を期末在庫欄に「再（ ）」で記載する（例では、患者から 20 錠の返却があり、うち 12 錠を再利用、残り 8 錠を再利用目的で保管）。

品名	期 初 在 庫			受 入			払 出			期 末 在 庫			備 考
	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	
MS コンチン錠 10mg	T	100×1	100	T	100×1	100	T	100×1 50×1	150	T	50×1	50	
〃						(20)			再(12)			再(8)	

- c 返却を受けた麻薬があり、再利用及び廃棄した場合（※返却麻薬の再利用ができない麻薬小売業者は除く。）
払出欄には、再利用数量と廃棄数量を別に記載する。再利用の目的で管理しているものがある場合には、その数量を期末在庫欄に「再（ ）」で記載する（例では、患者から 20 錠の返却があり、うち 12 錠を再利用、5 錠を廃棄、残り 3 錠を再利用目的で保管）。

品名	期 初 在 庫			受 入			払 出			期 末 在 庫			備 考
	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	
MS コンチン錠 10 mg	T	100×1	100	T	100×1	100	T	100×1 50×1	150	T	50×1	50	
〃						(20)			再(12) 廃(5)			再(3)	

例 6：患者が麻薬を持参し入院した場合

- a 患者が持参した麻薬を再利用した場合
患者が持参した数量を受入欄に「持（ ）」で記載し、再利用した数量を払出欄に記載する（例では、患者が 20 錠を持参し、全量再利用）。

品名	期 初 在 庫			受 入			払 出			期 末 在 庫			備 考
	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	
MS コンチン錠 10 mg	T	100×1	100	T	100×1	100	T	100×1 1×50	150	T	1×50	50	
〃						持 (20)			再 (20)				

- b 患者が持参した麻薬を再利用したが、死亡等で残薬の返却を受けた場合
患者が持参した数量を受入欄に「持（ ）」で記載し、再利用した数量を払出欄に記載する。その後、返却を受けた麻薬の数量を受入欄に（ ）書きで記載し、廃棄した数量を払出欄に「廃（ ）」で記載する（例では、患者が 20 錠を持参し、全量再利用。その後 10 錠が返却され、全量廃棄）。

品名	期 初 在 庫			受 入			払 出			期 末 在 庫			備 考
	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	
MS コンチン錠 10 mg	T	100×1	100	T	100×1	100	T	100×1 1×50	150	T	1×50	50	
〃						持 (20) (10)			再 (20) 廃 (10)				

例 7：麻薬小売業者間譲渡許可の場合

- a 麻薬小売業者間譲渡許可により他の薬局から譲り受けた場合
受入欄に譲受数量を加え、譲り受けた数量を（ ）書きで併記する（例では、麻薬小売業者間譲渡許可により 30 錠譲り受けた。）。

品名	期 初 在 庫			受 入			払 出			期 末 在 庫			備 考
	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	
MS コンチン錠 10 mg	T	100×1	100	T	100×1 1×30	130 (30)	T	100×1	100	T	100×1 1×30	130	麻薬小売業者間譲渡許可による譲受 30 錠

- b 麻薬小売業者間譲渡許可により他の薬局へ譲り渡した場合
払出欄に譲渡数量を加え、譲り渡した数量を（ ）書きで併記する（例では、麻薬小売業者間譲渡許可により 30 錠譲り渡した。）。

品名	期 初 在 庫			受 入			払 出			期 末 在 庫			備 考
	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	
MS コンチン錠 10 mg	T	100×1	100	T	100×1	130	T	100×1 1×30	130 (30)	T	100×1	100	麻薬小売業者間譲渡許可による譲受 30 錠

例 8：免許失効等による残余麻薬を受け入れた場合
受入欄に譲受数量を加え、譲り受けた数量を（ ）書きで併記する（例では、免許失効等による麻薬譲渡届により 30 錠譲り受けた。）。

品 名	期 初 在 庫			受 入			払 出			期 末 在 庫			備 考
	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	単位	個 数	総数量	
MS コンチン錠 10 mg	T	100×1	100	T	100×1 1×30	130 (30)	T	100×1	100	T	100×1 1×30	130	譲受 30 錠 (R7.4.1 ○ ○薬局 免失 譲渡届)